

第7回実務者協議 [H30.3.23]

協議後の報道機関に対する説明概要（札幌市まちづくり政策局プロジェクト担当部長）

それでは、本日の第7回目の、最後の実務者協議の概要についてお知らせします。

まず、本日はですね、大きく3点ありました。

1点目が新球場建設構想に対する札幌市の考え・思いといったものをお伝えすること、2点目が真駒内というふうになった場合のスケジュールの確認・共有、3点目が先般、3月7日になりますが、記者説明会におきまして、皆様に公表させていただいた「行政支援に関する札幌市の考え方」についての補足説明という3点でございます。

それぞれ順を追って説明します。

まず、新球場建設構想に対する札幌市の考え・思いの説明につきましてですけれども、本日の実務者協議は、ファイターズさんが一定の方向性を出す直前の最後の実務者協議ということで、この札幌市の、あるいは札幌市長の考えや思いをお伝えするというのを一番の我々の目的ということで、改めてお伝えしたところでございます。

具体的にお話しますと、先般、3月19日、月曜日ですけれども、市議会、予算特別委員会におきまして、市長の方から約14分間にわたって答弁しました新球場に対する考えや思いをファイターズさんの方に映像で提供させていただき、さらに、議事録もお渡しし、それを是非球団の皆様、タスクフォース、あるいは本社の皆様に見たり、読んだりしていただきたいということで提供させていただきました。

繰り返してございますけれども、今、札幌ドームで年間180万人もの方々が観戦している状況を踏まえまして、引き続き観戦しやすい環境を確保できるよう、市内での新球場建設を実現してもらいたいということを改めてお伝えしたところでございます。

2点目が真駒内となった場合のスケジュールということですが、4月以降ということになりますけれども、ファイターズさんの方で具体的な設計作業に入ると思いますが、我々もその都度、その検討の状況に、一緒に色々と意見交換を交わし、さらに課題解決につきましても、交通、自然といった検討課題に関して両者で、ファイターズさんと一緒に整理していきたいと。

それから、これも既にお伝えしているところですが、そういった一旦のたたき台というようなものを作成しまして、有識者であるとか市民の方々が上がった検討会議のような場を設けて、議論をしていきたいと。

さらに、それを市民や地域住民の方々にご説明し、ご意見を伺っていくと、そういったような流れで進めていきたいと思いますということを確認いたしました。

3点目の「行政支援に関する札幌市の考え方」の補足説明ということでございますけれども、我々の方でシャトルバスの運行に関する考察状況の報告でありますとか、それから、固定資産税等に係りますこれまでの札幌市の減免事例の説明を行ったところでございます。

その他としまして、3月20日にアンケート調査の自由意見の第2弾を公表したところでございますけれども、第3弾につきましては3月26日、月曜日にホームページにアップしますので、第2弾、第3弾併せてアンケート結果についてお渡ししました。

そのほか、先週になりますけれども、3月15日の総務委員会におけます議論の概要について報告したほか、これまで、真駒内となってから、12月以降ですけれども、色々な要望書、陳情、それから署名をいただいておりますので、それらを、今までも逐一報告しておりましたけれども、まとめた

形で報告を行いました。

またですね、先般、市議会があり、アンケート調査も行い、その中で札幌ドームの継続使用の可能性ということについて色々と声がありましたから、本日、改めてファイターズさんの方に札幌ドームの継続使用の可能性ということについて、改めて確認したところですが、ファイターズさんとしては、以前から我々も言うておりましたが、新球場の検討を進めたいということでした。

以上が本日の概要でございます。

札幌市といたしましては、本日の協議をもって、ファイターズさんが新球場の建設を選定する上で必要と思われる情報を全て提供できたと思っておりますので、後は、来週になるかと思っておりますけれども、その結果を待ちたいというふうに思います。

私からは以上です。

以上